



# 校 門 の 坂

山田小学校 学校便り 令和6年度第4号 1月 7日発 文責 校長

【山田小学校HP <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1363/> 是非御覧ください！

## 新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。昨年中は、本校教育への温かいご理解とご協力をありがとうございました。本年も変わらぬご支援をお願いいたします。

さて、皆様におかれましては、どのようなお正月を過ごされたことでしょうか？そして、子ども達は、どのような冬休みを過ごしたのでしょうか？「ゲームやユーチューブばかりの生活をしないように！」「睡眠をしっかりと取るように！」と話しておいたのですが、どうだったでしょうか？年始めとなる今週は、生活習慣の乱れなどなかったか、健康面を中心に見守って行きたいと思います。

## 家庭学習の取組について書いていきます。

さて、本年度のテーマは「主体的に学ぶ児童の育成」（「やらされる学習」から「すすんでする学習」へ）です。特に力を入れたのが、「強制力をもった宿題は無くす。」でした。その経緯については、すでにお話してきましたので、いよいよ新学年に向けて、次のステージへ上げていきたいと思います。

## 学校からの提案ではなく、校長の思いや願いを書いていきます。

「家庭学習の取組み方」というと、職員会で話し合い、形の決まった学習ガイドのようなものを想像された方もいらっしゃるかもしれません。実際に低学年の「おすすめの学習」がなくなるのでは？と心配された話も聞きました。そうではありません。「いつまでも教師に依存するのではなく、自分で決める力を育てたいものです。」というのは、「いつ」ということを具体的に言うてはいません。子供によっては、3年生からかもしれません、5年生からという子もいるかもしれません。でも、中学生になるまでには育てておかないと、「中間試験」や「期末試験」、そして高校受験に向けての勉強は、自分の力でできるようにしておかなければいけないのです。さらに「自分はどんな道に進むのか」という大きな課題も自分で決めていかないといけなくなってくるのですから、それまでには、始めないといけませんね。そのための「家庭学習の取組み方」を書いていきます。校長の思いや願いを書いていきますので、保護者の皆様は、お子様のために、先生方は、学級で子供達に提案する工夫として読んでいただけたら、幸いです。

## 取り組んで欲しいものから、6回に渡って、書いていきます。

- 1 「読み声はおすすめです。」
- 2 「復習は、こんなふうにといいですよ。」
- 3 「予習は、こんな感じで気軽に取り組ませてみましょう。」
- 4 「読書は、立派な学習です。（本を読む習慣は、一生ものの宝です。）」
- 5 「ドリル学習の意味と役割」
- 6 「日記は、脳を鍛えるのに役立ちます。」

思いついたら、増える可能性はありますので、ご理解ください。

